



季刊「実験工房NNC」  
2011年冬号



jikkenkoubou

## ショートムービー「帰らない女」台本

---

○ タイトル入 「帰らない女」

○ 洒落たスポーツカーが、\*\*山を走る（夜）

○ その、中

運転手は男、助手席に女。

男 「（冗談っぽく）今夜は帰しません。絶対にね！」

○ 深まる山中

女 「（男に）どこまで行くの？」

男 「絶好のスポットを用意してあるから」

女 「期待を裏切らないでね」

男 「裏切らない」

○ 停車しているスポーツカー

○ 山中

男、女を案内して、

男 「ほら」

樹木に、首吊り縄がセットされている。

女、辺りを見て、

女 「いいセンスしてるじゃない」

男 「でしょ」

女、縄に触れながら、

女 「縄の強度もいい感じ。

ホント、今夜は帰れそうにないわ（微笑み）」

○ 暗転

ロゴ 「実験工房NNC」入。

(了)

## ショートムービー「帰らない女2」台本

---

- タイトル入「帰らない女2」
- 山中の、見晴らしの良い場所、絶景
- そこへ、男と女が来る  
二人、眼下に景色を眺めて、

女 「すごいイイ眺め」

男 「だろ」

女 「ホント、飛び降りるには絶好の場所だわ」

男、しゃがみ、リュックからノートとペンを取り出して、

男 「お前、体重50キロないだろ？」

女 「うん」

男 「ま、とりあえず50キロで計算しとくわ （ノートを書き書き）」

女 「何してんの？」

男 「ここって高さがxxメートルだから、  
重力加速度考えて、  
うん、お前が地面に激突するときのスピードは  
時速xxキロだね」

女 「ちょっと、素敵じゃないの」

(了)

## ピロリ菌賛歌

---

そう おまえはいつも 俺のなかにいた

おまえは誰よりも俺を 知っている

こんなに俺はおまえを愛しているのに

おまえは俺を 傷つける

俺は おまえを殺すだろう

おまえは 子どものころから俺を 知っている

俺は 子どものころからおまえを 知っている

川の水を飲んだときから はじまった

この狂った愛を 俺は終わらせる

錠剤飲んで一週間

さようなら

ピロリ

さようなら

ピロリ

おまえが俺に残したもの

慢性胃炎

(了)

## とうもろこし好きの彼氏

---

え？

今コーンサラダを食べたって言わなかった？

もしかして今、とうもろこしの栄養で、息をして

とうもろこしの栄養で、話をして

とうもろこしの栄養で、恋愛してるの？

じゃあ、今のキスは、とうもろこしの力を借りたってことね！？

そんなことするなんて！ やっぱり私、あなたを信用できない。

でも... 枝豆に変えてくれたら、また好きになるわ。

## 大根好きの彼氏

---

「君のために生きてい」って？！

そっかあ。

じゃあ、おでんのダシに

私の大好きな納豆といちごを入れてみて。

あなたを入れて煮詰めて、

私色に染まったら、

ちょっと食してみたくなるかもね。

どう？覚悟はできた？



## シュークリーム好きの彼氏

---

彼が言ったの。

「仕事帰りにコンビニでシュークリームを買って帰って、  
家でゆっくり食べるのが幸せ。  
でも恥ずかしいから内緒ね。」

私はね、もしシュークリームをもらったら  
まず冷凍庫に入れてね、  
次の日に取り出して、  
皮をゼンブ剥いで、  
ゴミ箱に捨ててね、  
中身のカスタードクリームの部分だけを  
スプーンでほじって食べるの。  
恥ずかしいから内緒ね。

きっとあなたは私と一緒にいられないわね。

季刊「実験工房N N C」2011年冬号

<http://p.booklog.jp/book/33648>

著者 : jikkenkoubou

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/jikkenkoubou/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/33648>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/33648>

実験工房NNC「公式ブログ」

<http://ameblo.jp/jikkenkoubou/>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社paperboy&co.